

令和5年度「一市町村民会議一運動」活動紹介

大垣市明るい青少年都市市民会議

大垣市明るい青少年都市市民会議では、青少年の健全育成について広く市民の理解を深めるとともに、家庭・学校・地域社会が一体となって、地域ぐるみの実践活動の推進と、その定着を図るために活動しています。コロナが5類に移行し、5年ぶりに市民会議大会を開催いたしました。大会では、社会奉仕活動や青少年育成活動に、多年に渡り貢献いただいた青少年・青少年育成者や、青少年団体・青少年育成団体、及び他人の生命や財産の保護・救助に貢献された青少年の方々に敬意を表して会長表彰を行っております。

今年度は、青少年の部 19 名、青少年育成者の部 9 名、青少年団体 1 団体、青少年育成団体 1 団体に会長である市長から表彰状を授与いたしました。

〇2月25日開催した大垣市明るい青少年都市市民会議大会の様子



また今年度の市民会議大会から大垣市少年の主張大会を組込み開催するよう変更したため、今年度は6月と2月の2回少年の主張大会を開催いたしました。共働き世帯の増加やまた人出不足による定年延長、またコロナ禍で地域の方々とのつながりの希薄化も進み、以前のような協力体制は望めず、家庭や地域、学校においても従来どおり様々な行事を行うことが困難になりつつあります。また、働き方改革についても議論されることも多く、できるだけ地域や学校関係者の負担軽減を図りながらも協力を得て実施することができるように、また、大垣市少年の主張大会を前倒し開催することで、西濃地区代表選考会まで時間の余裕が生まれるため、大垣市の代表生徒にとっても、練習時間の確保につながり、納得のいく発表ができると考えています。



またこの大会にあわせて、「第3日曜日は家庭の日」を多くの方々に知っていただけるよう、「家庭の日啓発図画・ポスター県入賞作品展」及び「わが家のふれあいアルバム作品展」を、学校や仕事が休みの土日に子どもと一緒に作品を見ていただくため、2月21日から3月5日まで大垣市情報工房1階情報工房ギャラリーにおいて開催いたしました。

今年の「わが家のふれあいアルバム」作品には、久しぶりに遠方のおじいちゃん、おばあちゃんの家を訪れた様子がカラフルな色彩で描かれたものや、マスクをはずし外出先で家族旅行を楽しむ笑顔いっぱいの記念写真が貼られたものなど、見る人が思わず微笑んでしまうような楽しい時間を家族で過ごしていることが伝わってくる3,254点の作品提出がありました。

世界情勢が不安定で家族で過ごすことが困難な事情や、能登半島地震で避難を余儀なくされている状況ですが、家族の存在が支えになり、また明日への希望となります。忙しい日常生活の中で、第3日曜日には今一度家族と過ごすかけがえない時間の重要性を感じてもらい、家族一緒に食事をしながら団らんしたり、お出かけをしたりと家族の絆を深める機会として「第3日曜日は家庭の日」の啓発につながっています。

令和5年度わが家のふれあいアルバム優良賞作品



わが家のふれあいアルバム展示の様子
(大垣市情報工房)